

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2017年5月号(第29号)



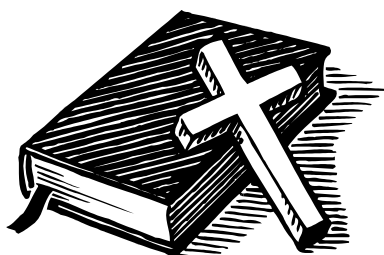
牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

義に飢え渴く者は幸いです。

その人たちは満ち足りるから。

【マタイの福音書 5章6節】

ニュースや新聞を見ていると、必ずしも正義が行われているわけではないと感ずることがあります。私たちにとって身近な学校や会社でも必ずしも正しいことが行われているわけではありません。最初は不正に対して怒りを覚えることもありますが、いつしか諦めや無力感にさいなまれることもあります。

今月の聖書のことばには「義に飢え渴く者は幸いです。その人たちは満ち足りるから。」とあります。この言葉を一つ一つ見ていきます。まず、「義」というのは、字のごとく「正しさ」です。おそらく大半の人が理想を言えば、正しく生きていきたいと願っているはずですが。誰も心から喜んで不正を行なう人はいないことでしょう。多くの人

は、やむにやまれず不正に手を染めてしまいい、いつしか感覚が麻痺していつてしまうのだと思います。正しいことを行いたいと願っても、出来ない自分に失望したり、周りの環境のせいにしてしまったりして、正しく生きようとするのを諦めてしまうのではないのでしょうか。しかし聖書は、諦めかけている人たちに、諦めずに正しく生きることを追い求めるように励まします。

次に「飢え渴く」という言葉を見ていきますが、これは「飢える」と「渴く」という二つの言葉に分けることができます。「飢える」というのは、「空腹になる」とも訳されます。また、「渴く」も見てお分かりの通り、喉が渇いて水を求める場面で使われます。私たちは、空腹になれば食事を求めて満腹

になり、のどが渇けば水を飲んで渇きがいやされます。それと同じように、正しく生きることを求めていくなれば、その人は「満ち足りる(満腹になる)」と聖書は語ります。ちなみに、ここで「満ち足りる」と訳されている言葉は受身形ですので、厳密に言いますと「満ち足らせてくださる」ということです。では、誰が満ち足らせてくださるのでしょうか。それは、神です。神ご自身が義を求めて生きる者を満ち足らせてくださいます。前述した通り、私たちは正しく生きたいと思っても、残念ながらそのように生きられずに来ました。もちろん時々は正しく生きることが出来たかもしれませんが、多くの日々において、敗北感を味わっているように思います。そのような状況の時、私たちが頼りにすべきは、神です。聖書には「あなた(神)の義は高くそびえる山のようで、あなたのさばきは深い海のようにです。(詩篇 36:6)」とあります。聖書は唯一、神だけが正しい御方だと言います。私たちは、

～集会案内～

○日曜日：聖日礼拝 11:00～12:30

○水曜日：聖書研究祈祷会 10:30～12:00

教会学校 10:00～10:40 (子どもから大人まで)

19:30～21:00

○毎月第2火曜日：ユニケの会 10:30～12:00 (子育てなどを行っている方のための集い。)

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。

この神を求めていく時に満ち足りることが出来ます。神との正しい関係に入ることこそが、正しく生きることが出来る第一歩です。ですから、私たちが求めるべきは、まず神との正しい関係であり、私たちが間違った道に導こうとする「罪」を解決することです。そして、すでにこの罪を解決する方法はイエス・キリストによって用意されています。私たちはキリストが自分の罪のために十字架に架かって死んでくださったと信じる時、義が与えられ、新しい出発をすることになります。どうか、このキリストを信じ、満ち足りた人生を歩んで下さい。

◆コラム

教会に来ている少年と最近した会話。

少年「先生、ゴールデンウィーク(GW)はどこか行くの？」

私「牧師にGWは関係ないんだよ。だって、また日曜日に来るでしょ。説教の準備があるんだよ」

少年「へえ、なんかかわいそう」

少年はGWがない私に同情してくれたのでした。牧師は日曜日(礼拝)に向かって生きていますので、その間にいくら休日が入って来ようが余り関係ありません。また、私は毎週同じことをすることに喜びを感じるところがありますので、休日で自分のリズムが崩れるのが好きではありません。と言っても、息抜きはしています。GWには三日連続で夜に本屋に行きました。そして、二冊の本を購入。最高です。